

第16号

ほっとほ〜む

〈発行〉 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 TEL072-953-3881 FAX072-953-3882
 〈発行責任者〉 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
 〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

子どもの心に

寄りそって



園長 瀬川 佳成

今年の冬は寒い日が長く続きました。ところが、高校、中学校、小学校、幼稚園の順に卒業式が終わっていくと、日増しに暖かさが増し、桜のつぼみが大きく膨らみ出しました。日本各地から満開のたよりが聞こえてきています。

大震災から2年を迎えた東北の地にも、確実に春が訪れています。しかし不自由な避難生活や被災地の苦難は続いていて、復興の道りはまだまだ遠いようです。今もわが子を探し歩いている人たちの姿には、胸が痛みます。一日でも早く落ちついた生活に戻ってくることを願ってやみません。

さて、この春、高鷲学園からは5人の子どもたちが巣立って行きました。就職先は旅館の接待業、電気関係の事務職、ハンバーグチェーン店、建設会社の清掃サービス、すし屋のアルバイトといろいろです。初めての仕事は戸惑いの連続だと思いますが、根気強く

とりくんでくれることを願っています。

また、10人もいて心配していた中3生が全員そろって高校・高等部に進学が決まり、ほっとしています。下の子どもらをひっぱるリーダーとして大いにがんばってほしいものです。

新年度は、家庭に帰る子や、他施設に変わる子もいて、91人の児童数でのスタートになりました。みんな個性豊かで、性格もいろいろです。なかには障害のハンディや生きづらさを抱えている子どももいます。みんな成長の真つただ中を生きています。

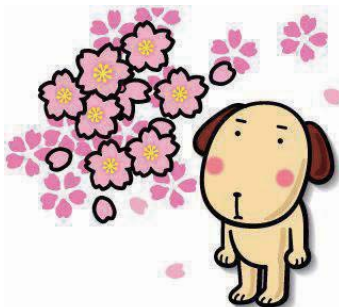
そんな子どもたちにとって一番必要なことは、一人ひとりが施設で安心して生活ができることではないでしょうか。家庭でつらいことに出会い、その痛んだ羽をちよつと休めてまたがんばろうと思えるように支援するのが、私たちの仕事です。思い通りに行かないことも多々ありますが、子どもの心に寄りそう養育・支援に、職員一同、精一杯努力していきたいと思えます。

皆さま方には、これまで通り高鷲学園と子どもたちを温かく見守ってください。また、後援会のお願いについても、ご協力してくださるよう、よろしくお願いいたします。

第49回 たかわしこどもまつり 開催

2013年6月2日(日)

高鷲学園・高鷲保育園にて、第49回 たかわしこどもまつりを開催します。皆さん、お誘い合せの上お越し下さい。



今号の特集

卒業・卒園を祝う会

◇祝う会

今年度は、幼稚園五名・小学生十一名・中学生十名そして卒園生五名の三十一名が卒業しました。お世話になった幼稚園・小学校・中学校の先生方、前園長先生、元職員それに富田林支援学校の先生方も来られて、お祝いすることが出来ました。

在園生からの送る言葉や卒園生による別れの言葉には、思いが込められた内容で感動的でした。夕食を兼ねた食事会もいつもより豪華なメニューでした。内容は子ども達の意見を聞いて献立を立てたもので、祝う会にふさわしい内容でした。さぞかし満足したことと思います。

次に踊りや歌のプレゼントが有りました。各階のフロアーの子ども達

も達が、この日の為に練習をしてきた曲を披露しました。

最後に、卒園生を中心にしたスライド上映を行いました。長く居る子は幼児の頃からの写真があり、短い子もそれぞれ思い出に残る写真のスライドにして振り返りました。懐かしい写真を見て思い出したり、幼い頃を「こんななんだ」と改めて思い起こしたり、しみみりしたり笑ったり懐かしがったりしていました。みなさん本当におめでとうございます。

(祝う会委員 上野文豊)



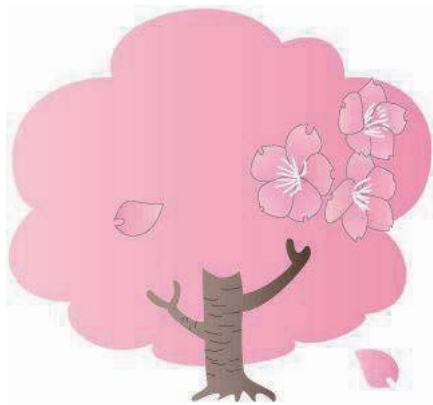
◇別れのことば

俺が初めてここに来たのは、4才だったと思う。小学生になり、かすみ草ブロックにあがった。生活している中で、トラブルは絶えなかつたけど、中でもかすみ草ブロックのことでのトラブルが一番多かつた気がする。ケンカも多かつた。中学生から自分勝手の自己中心的な人にはなるまいと思った。その時の担当の先生はそんなトラブル三昧のときに話を聞いてくれたね。ありがとう。

学園建て替えが半分終わった頃から担当の先生が変わった。進路で忙しい中3とか最後の高3まで一緒に頑張ったと思う。その頃もトラブルが多く、どうしようもないことがあった。学園の子と関わるのが面倒になって、外に出ることも少なくなり、そのうちに部屋に引きこもることが多くなつた。今思えば、かなりの時間をむだにしていた気がする。バイトをしと

けばよかった。そんなときにちょくちょく相談にのってくれたのも担当の先生だった。そして、もうすぐ学園生活が終わるなあと考えてたら、やっぱりここが自分の家だったんだなと思つた。今はもういない担当の先生とかおるけど、お世話になつた先生、本当にありがとう。おいしいごはんを作ってくれた調理場の先生、話しかけてくれた事務所の先生、ありがとうございました。

(卒園生 高校3年生男子)



贈る言葉



卒園生卒業生のみなさんおめでとうございます。小学校を卒業した皆さん、中学校に行ったら楽しいクラブや勉強が待っていると思いますが、悔いのない中学校生活を送ってください。中学校を卒業した皆さん、中学校生活は楽しかったかな？高校生活はもつと楽しいと思います。いろいろあるけど、頑張つてね。

高校卒業されるAちゃん、Bちゃんおめでとうございます。小さい子に優しくかったAちゃん。優しいだけじゃなくて、バイトや車の教習、勉強などコツコツ努力をしていたのは、職員や学園の皆知っているよ。けど、頑張りすぎて爆発する時もあり、Aちゃん自身もしんどい思いをしていたんだと思います。そんなAちゃんも4月からは社会人になりますね。掃除や接客など大変だと思いますが、コツコツ頑張るAちゃんなら辛いことも乗り越えられると思います。だからくじけず頑張つてね。スポーツが得意なBちゃん。男女年齢問

わず、みんなに人気だったBちゃんもとうとう社会人ですね。学校ではクラブも頑張っていて、良い成績を残してすごいなと思います。学校だけじゃなく、学園の行事も積極的に参加していたBちゃんは下の子たちへ良い影響を与えていたと思います。社会人になって、その積極性ががんばって下さい。

しんどいことがあるとおもうけど、お仕事がんばってください。たまには、学園に遊びにきてください。
(高校2年生 男子)



ダルビッシュ投手 来園

2月1日、北川市長とともに米大リーグ・レンジャーズのダルビッシュ投手が高鷲学園を訪れました。子どもたちには混乱を防ぐために当日ギリギリまで日程を隠し、世界のスーパースターが来るという事で職員は一週間前から準備に取り掛かりました。

当日ダルビッシュ投手が学園のホールに入って来られたときには長身とイケ面に子どもも大人からも大歓声が沸き起りました。ダルビッシュ投手から「今日はみんなにパワーをもらいに来ました」と挨拶され、子どもたちにグローブやサッカーボールなどの目録を手渡されました。その後は質問コーナーという事で、子どもたちから「好きな食べ物は何ですか?」「休みの日は何をしていますか?」といった質問にも丁寧に分かりやすく答えて頂きました。

記念撮影の後、退場するのに出口まで全員で花道を作り一人ずつハイタッチをされて帰りました。

約一時間という短い間でしたが子どもたちから「背が高くてかっこよかった」「今日でファンになった」などの感想が飛び交い、夢のひと時を過ごすことができました。
(3階ブロック 辻本 成祐)



◇寄付金・寄贈・招待

寄付金・寄贈・招待をいただいた方 (敬称略)
(2012年12月28日〜2013年3月25日)

※ありがとうございます。

寄付金
T・T (羽曳野市) 毎日新聞大阪社会事業
団 (卒園生祝金) 羽曳野遊技業組合
羽曳野市更生保護女性会
尼丁正寄 (野菜類)

寄贈

浅田満 (巻き寿司・国産牛ロース)
生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会
(電子レンジ) O・K (玩具)
I・R (お餅) ボランティアSOV (雑巾)
株マックスリミテッド (玩具等)

招待

道明寺天満宮 大津神社 (七五三参り) |
前号掲載漏れ

新しい仲間が増えました

四月から高鷲学園で一緒に働く
新任職員を紹介します。



このたび異動で高鷲学園にな
ります。前施設は知的障害児の
入所施設でした。養護の分野は
全くの新参者です。いちから勉
強し、一日も早くみなさんと共に実践し運動
していきたいように努力していきます。どうぞ
よろしくお願い致します。
(植田 誠彦)



学園にとっても子どもたちに
とつても必要とされるような職
員になれるよう、四月からまた
新たな気持ちで頑張りたいと思
います。
(坂田 絹子)



子どもたちとの関係はまだま
だ手探りな部分もありますが、
一生懸命がんばります。
職員の先生方にはわからない
ことだらけで迷惑をかけると思
いますが、指導員としての仕事
をしっかりと果たしたいと思います。
(豊田 優花)



四月から高鷲学園で勤めるこ
とになりました。児童養護施設
での勤務は初めてとなります。
先輩方の動きを見て、聞いて、
一日でも早く力になれるように
なりたいです
(高倉 正和)



京都府出身です。サッカーを
小さい頃からして運動が好
きです。初めてで不安なことも
ありますが、子どもたちと職員
の方々と仲良く一生懸命がんば
っていきこうと思います。
(横岩 竜成)



四月から高鷲学園で保育し
てつとめることになりました。
野球やサッカー、水泳などをや
っていました。スポーツするの
が好きなので、子どもたちと
そのような機会を作りたい
です (牧之瀬 翔)



子ども達の施設で働くのは初
めですが、日々学ばせて頂き
ながら子ども達の成長を見守
るお手伝いをさせて頂きたい
と思います。
(湯川夕佳子)



栄養士として勤務することに
なりました。年齢は松井秀樹選
手と同じでも栄養士ピカピカの
一年生です。ベストを尽くします。
(二柳 睦美)

ほっとほ〜む
ひびくや
つい先日まで、幼稚園に通っていた幼稚園児もひびくやのランドセルを持ち小学校へ通うようになったのを見て「大きくなったな」と思わずほれましました。みんな頑張れ〜。なお、今年度より「ほっとほ〜む」は年二回発行になります。近日常にホームページを開いたしますのでご覧になって下さい。
takawashigakuen.com/